

社会保険田川病院 広報誌

# あおぞら

<http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>

- 地域がん診療連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構 認定病院
- 基幹型・協力型臨床研修病院
- 産科医療補償制度加入分娩機関
- 福岡県肝疾患専門医療機関
- 日本病院会優良二日ドック指定病院
- 救急告示病院
- 開放型病院



## CONTENTS

「9月の平尾台」もうすぐ一面がススキの草原になります。  
 (撮影)放射線科部長 植山敏彦

- P2 専門職紹介 がん看護の領域で活躍している看護師
- P3 内視鏡センターのご案内 Part6 内視鏡でこんなことまで可能です!!
- P4 特集 肝臓がんの治療について
- P5 はじめよう口腔ケア Vol.6 / 栄養科コラム 暑い夏を元気に乗り切ろう!!
- P6 ふれあい講座 / 緩和ケア研修会
- P7 新人看護師川柳 / 患者さんの声

2013  
 8月号  
 vol.30

### 医療理念

- 1.患者中心の医療
- 1.医療の質の向上
- 1.地域社会に合った手づくりの医療
- 1.安心と信頼を持たれる病院づくり

### 基本方針

- ▶ 患者中心の医療をめざし、チーム医療を実践します。
- ▶ 医療の質の向上と医療安全対策推進に努めます。
- ▶ 患者さんに理解を得られる説明を行います。
- ▶ 平等な医療の提供、プライバシーの尊重、情報開示、治療の選択など患者さんの権利を尊重します。
- ▶ 地域がん診療連携拠点病院として、また地域における中核病院としての役割を十分に踏まえ、他の医療機関や介護施設との連携を推進します。
- ▶ 施設の共同利用や地域の医療従事者の教育研修に努めます。
- ▶ 救急医療、在宅医療、老人医療および予防医学に対応する諸策を遂行します。
- ▶ 健診部門や介護保険センターを通じて、地域社会の保健・福祉に貢献します。
- ▶ 心ある医療を提供するために、職員の教育・研修の充実とモラルの向上に努めます。
- ▶ 働きがいのある職場作りを推進します。



まごころと、安心と、信頼と  
 一般財団法人 福岡県社会保険医療協会



専 門 職 の ご 紹 介

# がん看護の領域で活躍している看護師

## がん患者さんとご家族を支えるスペシャリスト

ひろせ りえ  
**廣瀬 理絵**

**がん看護専門看護師  
看護師長**

**活動内容** 患者さんとご家族の方は、病気を診断されてから長期にわたり、治療の選択、治療による副作用や生活への影響、心理面への影響、療養の場の選択などさまざまな課題に直面されます。そのような課題に対して、患者さんやご家族の方と一緒に考え、また、チーム医療を効果的に提供できるよう多職種と協働しながら活動を行っています。

**患者さんへ** 患者さん、ご家族の方が、主役です！  
今後も、患者さんとご家族の方が、希望される医療や療養生活を送れるように、患者さん、ご家族の方とパートナーシップをはかりながら活動して参りたいと思いますので、宜しくお願いします。各科外来、各病棟の看護師を通じて、お気軽にお声をかけてください！



おだ くみこ  
**織田 久美子**

**がん相談支援専門員  
主任看護師**

**活動内容** がんの診断や治療について知りたいとき、今後の療養や生活のことが不安でたまらないときなど、がん医療にかかわる質問や相談にお応えし、情報を探すお手伝いをします。また、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、管理栄養士といった専門の医療スタッフと連携をとりながら、問題解決のお手伝いをいたします。

**患者さんへ** あなたにとって難しい情報をやさしく、わかりやすく解説します。お話を伺いながら「どうしたら」や「どうして」を探したり、解決の糸口をご一緒に考え、あなたに合った情報を提供します。そして、あなたの心を支え、あなたの生活を支援し、ご家族からのご相談も伺いながらご家族も支えます。是非、お気軽にご相談ください。もちろん秘密は厳守いたします。



ふじおか ちあき  
**藤岡 千晶**

**がん化学療法看護認定看護師  
主任看護師**

**活動内容** 外来化学療法室に所属し、化学療法（抗がん剤治療）を受ける患者さんとそのご家族が、安心・安全に治療を受けられるように、副作用への対応、日常生活との調整などについて、化学療法室、外来および病棟のスタッフと協働して活動しています。当院の化学療法室は20床のベッドを配置し、リラックスした環境で治療を受けていただけるよう配慮しています。

**患者さんへ** 今までと変わらない生活を送りながら、安心して化学療法が受けられるようにお手伝いさせていただきます。「明るく、笑顔を絶やさず」をモットーに日々の業務に取り組んでいます。お気軽に声をかけてください。



やすなが かずみ  
**安永 一美**

**緩和ケア認定看護師  
主任看護師**

**活動内容** 「緩和ケア」とは、がんの末期だけではなく、がんと告知された時から、病気と闘う本人とそのご家族に対し、痛みやその他の症状、また家族関係や経済的な心配事を和らげて、安心して療養ができるようにサポートするためのケアで、多職種で構成された緩和ケアチームとして活動しています。

**患者さんへ** さまざまな病気を抱えながら、地域で暮らす方々が「在宅や病院」で自分らしく時間が過ごせるようお手伝いしたいと思っています。現在、入院、外来でがんやそれ以外の病気で治療を続けていらっしゃる方は、お気軽に声をおかけください。





内視鏡センターのご案内 Part6

内視鏡でこんなことまで可能です!! (最終回)

内視鏡では前回までにご紹介した一般の検査だけでなく、様々な治療やさらに踏み込んだ検査への応用が可能となっています。今回はその一部をご紹介します。

○内視鏡下粘膜下層剥離術 (ESD) 下記は実際に早期胃がんの治療を行っているところです。

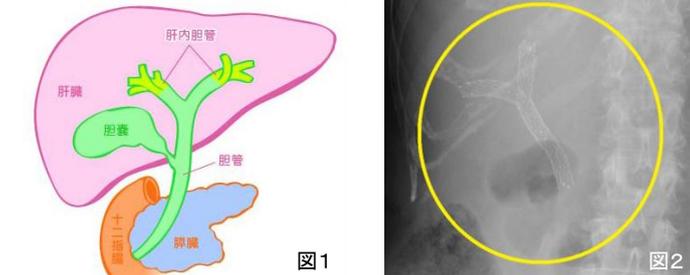


<p><b>1 マーキング</b></p> <p>内視鏡を胃の中に入れ、病変の周辺に切り取る範囲の目印を付けていきます。</p>	<p><b>2 局注</b></p> <p>粘膜下層に薬剤を注入して浮かせた状態にします。</p>	<p><b>3 切開</b></p> <p>マーキングを取り囲むようにナイフで病変部の周囲の粘膜を切ってゆきます。</p>	<p><b>4 粘膜下層のはく離</b></p> <p>専用ナイフで病変を少しずつ慎重にはぎ取っていきます。</p>	<p><b>5 切除完了</b></p> <p>ナイフを使って最後までのはく離するか、最後にスネアを使って切り取ることで病変部の切除が完了します。</p>
--	---	---	--	---



○胆道ステント留置術

胆道がんや膵臓がんにおいて、胆汁の通り道を確認するためにステントを留置します。図1のように胆管が走行しておりますので、それに沿うように図2のように複数のステントの留置も可能です。



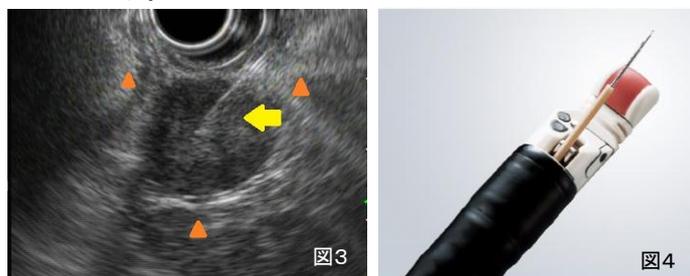
○消化管ステント留置術

胃がんや膵臓がんなど悪性腫瘍により食事が出来なくなった方にたいして、胃や十二指腸にステントを留置することで食事の摂取が可能となります。



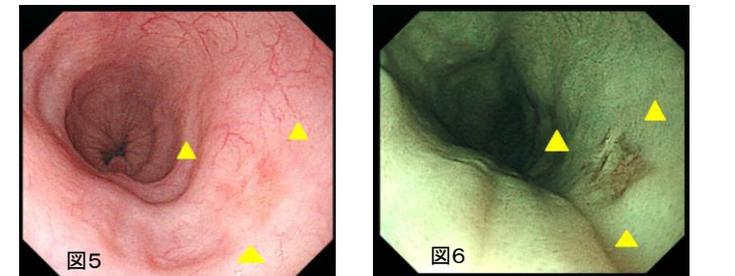
○超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診

図3は胃壁の外側にある腫瘍にたいして、特殊な超音波内視鏡(図4)を使い針で組織を採取している所です。黄色矢印は針でオレンジ色の矢頭で示された腫瘍を穿刺しています。



○狭帯域光観察 (NBI)

粘膜表層の毛細血管や粘膜微細模様などを、色調の違いとして強調表示することにより早期がんがより見つけ易くなります。図5は早期の食道がんを通常観察で見たもの。図6はNBIを用いて見たものです。



その他にも胃瘻造設術や食道静脈瘤に対する治療、手術後の狭窄に対する拡張術など、内視鏡を用いたさまざまな治療、処置があります。今後もいろいろな処置が内視鏡で出来るようになって考えられています。このシリーズは今回で一旦終了しますが、不明な点があればお気軽にスタッフや医師にご相談ください。

○オリンパスメディカルシステムズ(株)メディカルタウンより一部引用 <http://www.medicaltown.net/>

●加治内科医長による「内視鏡センターのご案内」は今回で終了です。

**内科医長 加治 亮平**  
 日本内科学会 総合内科専門医  
 日本消化器内視鏡学会 指導医

◎内視鏡について不明な点があれば内視鏡センターまでお問い合わせください。

# 肝臓がんの治療について

外科の日高です。今年の4月より外科医長として就任していますが、実は約10年前の2002年2月から2003年の10月までの間、社会保険田川病院外科で勤務していました。その後は久留米大学の肝胆膵グループで2年間、経皮経肝的胆道治療を専門に行い、胆道がんの研究を行いました。そして次の1年間は九州医療センター肝胆膵外科で肝臓がんの手術を中心に行い、2006年11月からは聖マリア病院で肝胆膵領域のがんの手術を主に、消化器がん全般の手術及び抗がん剤治療の勉強を行いました。2011年9月からは筑後市立病院で腹腔鏡下手術のトレーニングを行い、現在に至ります。当時当院で受け持っていたがんの患者さんとも約10年ぶりに再会しており、お互いを覚えている事や、今でも元気で過ごされている事に非常に感銘を受けております。

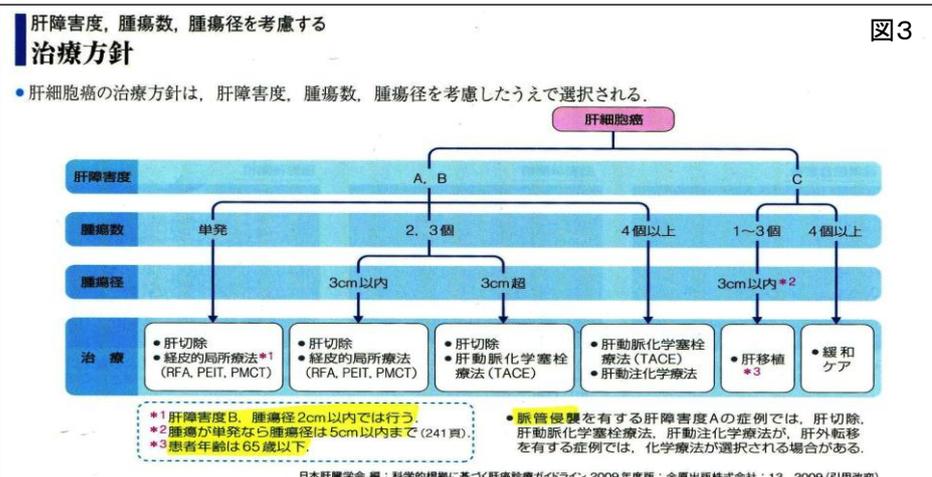
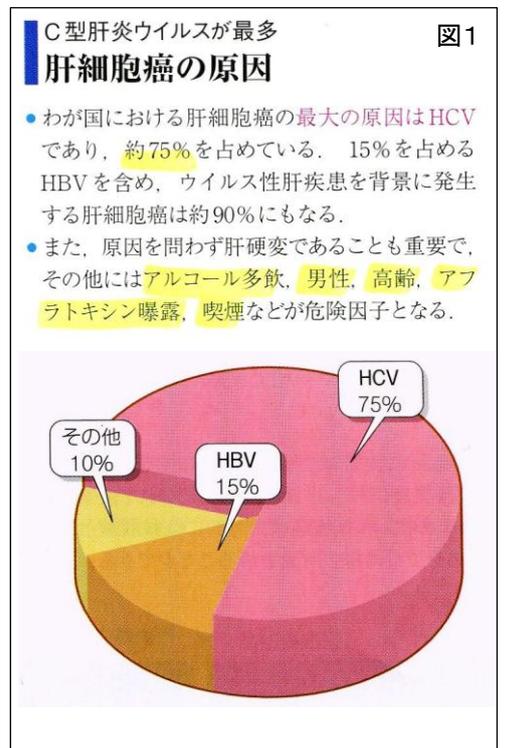
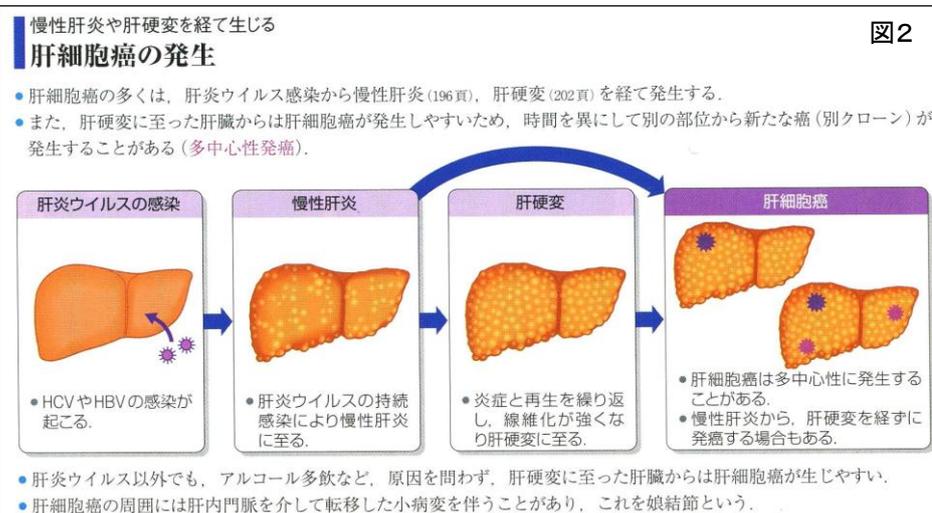
さて、今回は肝臓がんについて一般的な事を解説します。肝臓がんのほとんどを占める肝細胞がんは、肝炎ウイルス感染に起因します。肝炎ウイルスによって肝炎を発症すると、その部分の細胞の破壊が進みます。修復を繰り返すうちに肝臓機能が衰えて肝硬変となり、一部の人は肝臓がんへと進行していきます(図1)。これを原発性肝臓がんといい、他の臓器に発生したがん細胞が肝臓に転移する転移性肝臓がんと区別されています。原発性肝臓がんの95%が肝細胞がん、そのうちC型肝炎のウイルス保持者が75%、B型肝炎保持者が15%となっています(図2)。

肝臓は、唯一切り取っても再生する力を備えた臓器です。また、余力にも富み健康な人なら70%まで切除可能とされています。がんの治療をしても、もともとの肝炎や肝硬変であることは変わらないため、切除した場合でも5年以内に約75%の患者でがんが再発してしまいます。そこで、肝臓の再生力と余力の状況に鑑み、治療方法を組み合わせながら上手にQOL(生活の質)を維持していくことになります。

肝細胞がんの三大治療とされるのが、切除、ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓療法です。1回の治療効果が最も大きいのは切除ですが、他の治療に比べて肝臓の余力が必要となります。また肝切除は、丁寧さと緻密さが求められる専門性の高い手術ですが、近年の医療技術や機器の進歩に伴い、肝胆膵領域を専門とする医師の元では比較的安全に行われるようになってきました。しかし腫瘍が複数ある患者さんでは、切除後にも別の腫瘍を発症することが多いため、切除による肝機能低下、胆汁の漏れ、感染症といった手術のリスクと、治療で期待できる効果を個々の患者様の状況に応じて天秤にかけ、手術をするべきか否かを検討しなければなりません。

日本肝臓学会は、(1)肝機能の状態、(2)腫瘍の数、(3)腫瘍の大きさの3点を勘案して治療方法を定める最新の『科学的根拠に基づく肝臓がん診療ガイドライン2009年版』を発表しています(図3)。

原則的にはガイドラインに基づいて治療法を選択していくこととなるのですが、先程も述べたように患者さんの状況に応じて治療法を選択して行く事が肝要と考えます。



**外科医長 日高 敦弘**  
 日本外科学会 外科専門医・指導医  
 日本胆道学会 指導医  
 日本消化器外科学会 専門医・  
 消化器がん外科治療専門医  
 日本消化器病学会 専門医

# はじめよう口腔ケア Vol.6



じえ、じえ！  
誤嚥性肺炎予防の注意点！

## 1.食事介助の注意点

①飲食物は、目線約 30 cm以内に置きましょう。

②介護者は座って、相手と目線を同じにする。顎を引くと飲み込みやすくなります。

③1 さじ量はペースト状でスプーン 1 杯を目安にしましょう。

④スプーンを下唇にのせ、食べ物を上唇につけるようにしましょう。



⑤口唇が閉じたら、やや斜め上に向かってスプーンを抜きます。  
※閉じない場合は、手で下顎を押さえて介助します。

⑥食べ物が口の中に残っていないことを確認して、次の食べ物を口に入れましょう。

⑦姿勢は仰向けで、30°にしましょう。

⑧食事時間は 45 分以内にしましょう。



## 2.食事の形態



一口大：2 cm程に切る。



キザミ：5 mm～1 cmに切る。



トロミ：増粘剤等を使用する。

※増粘剤…液体の粘性を高めるために混ぜるもの。



歯科口腔外科医員  
高野 雅代



## 栄養科コラム 暑い夏を元気に乗り切ろう!!

日も長く、暑い季節となりました。夏は体に受けるストレスも多く、知らず知らずのうちに『疲れ』がたまりがちです。なぜなら、夏は汗と共に体の水分、ビタミン、ミネラルなどの栄養成分が失われてしまいがちだからです。上手に水分補給し、疲労回復効果や体の免疫力UP、紫外線予防に役立つ旬の夏野菜たちをたっぷり食べて夏を元気に過ごしましょう。

### 上手に水分補給を...

夏は汗などで水分が失われがちです。夏は汗などで水分が失われがちです。上手に水分補給をすることが大切です。水分は一度にたくさん摂るのではなく、少量ずつこまめに補給するようにしましょう。1日3回の食事以外、朝目が覚めた時や食事と食事の間、入浴の前後、寝る前などこまめに補給されると良いでしょう。



### 旬の夏野菜で夏を元気に!

強い日差しを受ける夏野菜はたっぷりの水分、ビタミン、ミネラルを含んでいます。夏野菜を食べて、暑い夏を元気に過ごしましょう。

**とうもろこし** 野菜として利用されているのはスイートコーンと呼ばれる甘味種。ビタミン類、カリウム、リンなどのミネラルを含み、蛋白質を構成するアミノ酸には疲労回復効果が高いアスパラギン酸、脳機能を活性化させるグルタミン酸、免疫機能向上させるアラニンを含みます。



**にがうり** 沖縄での呼び名「ゴーヤー」。苦味成分はククルピタシン類というフラボノイドの一種で食欲を高め、夏バテを防ぐ効果があります。ビタミンCも多く苦味成分との相乗作用でがんや老化の抑制効果を高め、ストレスの軽減に対して有効。カリウムも多く、利尿作用があります。



**なす** 血行の促進作用や利尿作用にすぐれているといわれている野菜。なすの皮に含まれる色素成分のナスニンは、細胞の老化やがん化抑制作用、眼精疲労や視力回復を助ける効果で注目されています。



**しそ** 薬味、添え物に使用されることが多い香辛野菜ですが栄養成分の含有量では群を抜く存在。「青しそ」と「赤しそ」がありますが、栄養素を多く含むのは「青しそ」。動脈硬化やがん抑制効果に働くβ-カロテンを特に多く含みます。



**とまと** ビタミンC、β-カロテン、ビタミンB群、ビタミンEなど各種栄養成分が豊富な野菜。赤い色素成分のリコピンはβ-カロテン以上の抗酸化力があるとされ、近年がんや動脈硬化の予防効果があるといわれています。



**きゅうり** カリウムを多く含み、利尿作用があります。夏は体がむくんだり、だるさが溜まったりしがちですが、そんな時にもきゅうりが利尿・解毒剤代わりに一役かいます。



**おくら** 切ったり刻んだ時に生じる独特の粘りはペクチンやムチンなどの成分で弱った胃腸を保護してくれます。たんぱく質分解酵素も含まれますので、たんぱく質の消化を助ける働きもあります。



管理栄養士 尾山 りつ

## 第 6 回 ふれあい講座 開催!!

6月15日(土)、第6回ふれあい講座を開催しました。今回は向野内科部長による「タバコと肺疾患について」をテーマに講演が行われ、地域住民の方28名を含む41名が参加しました。参加した方からは「本日の資料を子供(35歳)に送り、やめる方向で努力するよう伝えたいと思います」、「データのグラフ、画像等が理解しやすかったです」などたくさんの意見を頂きました。また、講演の後には恒例の相談コーナーが設けられ、皆さん、医師、看護師等に日頃疑問に思っていることなどを熱心に聞いておられました。

ふれあい講座は患者さん、ご家族はじめテーマに興味のある方はどなたでもご出席いただけます。ぜひお気軽にご参加いただき、健康について考えるきっかけとしていただければ幸いです。



今回のふれあい講座は 10 月に開催予定です。テーマが決まりましたら改めて広報いたします。どうぞご期待ください。

## 第 5 回 緩和ケア研修会 開催!!

7月6日(土)と7日(日)の2日間、今回で5回目となる「緩和ケア研修会」を開催いたしました。この研修会は、年に1回開催しており、厚生労働省が定める開催指針に基づき日本緩和医療学会が開発したプログラム(PEACE PROJECT)に準拠し、講義だけでなくグループワークやロールプレイといった手法を取り入れて実施しています。今回は院内外から医師17名、看護師、薬剤師、管理栄養士などのコメディカルスタッフ8名が参加、2日間にわたって緩和ケアに関する基本的な知識と技術について学びました。

研修会の企画責任者である当院の柳瀬麻酔科部長のもと院内のスタッフが毎週打合せを行い、久留米大学の恵紙英昭先生、

佐野智美先生、また以前当院で勤務されておられた浅海安雄先生にもご指導ご協力いただき、無事に2日間の研修会を終えることができました。

平成21年の第1回開催以来、当院をはじめ院外各地域から合計82名の医師と40名のコメディカルスタッフが当院主催の緩和研修会を受講し、皆さんそれぞれの現場で研修内容を活かし活躍されています。



# 新人看護師川柳

「辛くても 同期がいれば 心強い」  
 「ありがとう 力に変わる 患者の言葉」  
 「田川弁 話したいけど 照れくさい」  
 「急変時 先輩みんな かつこいい」  
 「確認の 重要性が 身にしみる」  
 「スイマセン 毎日毎日 くり返し」



みんなはやく一人前の看護師になれるように毎日頑張っています。



## 患者さんの声

**Q:** 診察券で約3か月後に受付をしようとしたら、久しぶりとのことで、手続きを最初からしてください、とのことでしたが、薬を3ヶ月分もらっていたので、そのまま継続できるのではないかと思います。このようなことは2回目です。(カットするのは、6ヶ月後にしたらどうかと思います)

**A:** 保険証の確認漏れを防ぐため、長期間にわたり保険確認なしで再来受付機を通す設定は困難です。保険証の確認がすぐのできる仕組みを検討しておりますので、今しばらくお待ち下さい。

**Q:** 面会に来たものです。看護師さんは声かけをしないのですか。来て帰るまで一言も声かけがありませんでした。どなたに尋ねたらよいのかもわかりません。どうなっているの、この病院は！

**A:** ご指摘、ありがとうございます。職員からの声かけがなく大変不愉快な思いをされたとのことで、誠に申し訳ございませんでした。当院では、よりよい接遇を目指して、「職員から先に患者さんへ声かけをしよう。」という取り組みを行っているところです。患者さん、ご家族、病院に訪れる方とのコミュニケーションを円滑にして、よりよい医療の提供に努めたいと思います。

**Q:** 全く眠れなかったことを話した時、お湯で足を洗って頂いてその夜はぐっすり眠れたこと、本当にありがたく、その時の看護師の方（男性）に心から感謝を申し上げます。本当にお世話になりました。

**A:** お褒めの言葉ありがとうございます。今後も患者さんのニーズにこたえられるようにケアしていきたいと思ひます。

**Q:** 支払いに時間がかかり過ぎるので改善をお願いします。

**A:** ご迷惑をお掛けしております。スタッフ教育に取り組んで、スピードアップを図ってまいります。また、支払窓口全体の体制を再検討いたします。

**Q:** 外科のスタッフの皆さん。この度の入院につきましては、大変お世話になりました。Tさん笑顔ありがとうございます。MさんKさん元気をありがとうございます。特にM先生には安心をいただき心強く手術をうけることができ、感謝申し上げます。

**A:** ご意見ありがとうございます。今後も安心して療養生活を送れますよう、スタッフ一同親切・丁寧な対応で接していきたいと思ひます。

貴重なご意見をありがとうございます。  
 今後のサービス向上に役立てたいと存じます。



社会保険田川病院 診療医案内 診療受付時間 / 8:30~11:00 (急患は除きます)

平成25年8月1日現在

Table with columns for Department (診療科), Day (日), and Doctor Name (医師). Rows include Internal Medicine (内科), Pediatrics (小児科), Surgery (外科), Plastic Surgery (整形外科), Neurology (脳神経外科), Obstetrics/Gynecology (産婦人科), Urology (泌尿器科), Orthopedics (形成外科), Dermatology (皮膚科), Otorhinolaryngology (耳鼻咽喉科), Ophthalmology (眼科), Stomatology (歯科), Psychiatry (精神科), and Anesthesiology (麻酔科).

(注) 歯科口腔外科の診療受付時間 平日(午前)8:30~11:00 (午後)13:30~15:00
※ただし、午後の受付は紹介患者さんのみ。また、木曜日の午後については手術のため休診とさせていただきます。
(注) 眼科の診療受付時間 月曜日・水曜日・金曜日は8:30~10:00までとさせていただきます(それ以外の曜日は11:00まで)。
(注) 整形外科の診療受付時間 土曜日のみ 8:30~10:00までとさせていただきます(それ以外の曜日は11:00まで)。
(注) 緩和ケア科は完全予約制(診療時間14:00~17:00)とさせていただきます。

■診療受付時間 8:30~11:00 (急患は除きます)
■時間外診療
時間外に来院される場合には、必ず事前に電話連絡し、診療出来るか否かを確認のうえ来院してください。
緊急を要する患者さん優先のため、場合によってはお断りする場合がございます。※小児科については、時間外、及び休日の診療は行っていません。
■面会時間
平日/午後2:00~午後8:00まで、日曜・祝日/午前11:00~午後8:00まで
■書類確認・予約変更
お電話は、平日/午後2:00~午後5:00、土曜/午前8:30~午後12:30まで

当院に対してご希望やご意見がございましたら、職員にお気軽にお申し付け下さい。ご意見箱もご利用下さい。
一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 田川病院
〒826-8585 福岡県田川市上本町10-18
TEL 0947-44-0460 FAX 0947-45-6540
地域医療連携室 TEL 0947-44-0474 FAX 0947-44-0559
URL : http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/
Email : syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

薬剤師・看護師 募集中!!

ご相談・お問い合わせは 総務課まで

0947-44-0460

まずはお電話ください。